

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズスクール ピース			
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 10 日 ～ 2025 年 3 月 25 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 25 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 31 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を持って、楽しみを感じながら通所できる環境づくり。	ご利用の子どもたちに職員が担当制で付いておりません。職員全員がご利用の子どもたち全員の特性を理解し、すべての子どもの支援に関わることができるように取り組んでおります。そのことで、子どもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、子どもたちの判断で一緒に活動する職員を選択できる環境となっております。	支援に関わる職員も含め、施設内での活動について子どもたちが自己選択・自己決定できる環境をつくることで、これからも子どもたちが安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組んでまいります。
2	室内だけでなく、より実践（社会）に近い環境として、体験活動を週1回（土曜日）取り入れ、療育活動を行っている。	いつも決まったお子さんだけではなく、様々なお子さんとも一緒に取り組めるように工夫している。	・体験活動の中でも、色々なプログラムを用意して、子ども達に様々な体験を通して成長してもらうように心がけていきたい。
3	個別支援を中心とした提供形態である為、個々の発達に合わせた支援プログラムが提供できる。	・個別支援、少人数型グループ支援 ・支援後のフォローアップ時間の確保（家族支援及び、家庭での状況聞き取りを含む	・プログラムを定期的に見直す ・職員の研修 ・プログラム内容を保護者と共有しやすい環境をつくる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童福祉事業の経験年数が少ない職員が多いため、資格を十分活かして日々の療育にあたるのが難しい。	経験豊富な職員を研修担当として、非常勤として配置をするなど工夫している。	・社内研修の充実を図りつつ、外部研修へも積極的に参加できるよう体制を整えていく。 ・日々のミーティングが最も重要な研修にも繋がるため、職員間で意見の出し合える環境をより構築していく。
2	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	行政の所管部署ともご相談しながら各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施したりしています。また、それらの内容を定期的に通信やホームページで発信しておりますが、保護者の皆様にしっかりと伝わっていない現状があります。	通信等での発信や保護者会での説明だけでなく、各種マニュアルや避難訓練の実施のみを扱ったお手紙等のご案内を発信していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様にしっかりと情報をお伝えすることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。

3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性のこどもたちにご利用いただいております。また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要があると考えております。	ご利用者の皆様全員に必要な情報は保護者会等を通してお伝えしながら、各ご家庭やこどもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと考えております。
---	--	--	---